

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第62回 ビジネス文書実務検定試験 (1.6.30)

第2級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第62回 ビジネス文書実務検定試験 (1.6.30)

第2級 速度部門問題 (制限時間10分)

現金を使用せずに支払える場所が、都市部や観光地を中心として	30
増えつつある。最近では、さい銭を電子決済できる神社まで登場し	60
た。このようなキャッシュレス化は、急増する訪日外国人の利便性	90
を高めるためにも、効果的だといわれている。	112
海外のキャッシュレス決済比率をみると、韓国は9割程度、中国	142
では6割に達する。その一方で、日本はおよそ2割と低い。そのた	172
め、外国人の中には不便と感じている人もおり、キャッシュレス化	202
の対応が急がれる。	212
政府は2025年までに、この比率を4割に高める目標を掲げて	242
いる。その方策の一つとして、IC対応の決済端末を導入する店舗	272
を支援するため、補助金を出すことが決まった。電子決済ができる	302
店舗を増やすことで、外国人のニーズに応えられる。	327
このように、キャッシュレス化は観光立国を実現するための大切	357
な要素だ。全国に普及することで、地方へ旅行しようとする外国人	387
の不安が減少する。それは、様々な場所に足を運ぶ訪日リピーター	417
を増やすことにもなる。日本を訪れるすべての人に、十分に満足し	447
て帰ってもらいたいものだ。	460